

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県神戸市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	神戸市文化遺産総合活用活性化実施計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>神戸市策定の神戸市基本計画2015ビジョン（平成22年度策定）に基づき策定された神戸市教育振興基本計画内の生涯学習推進計画（平成22年度策定）によって、文化財や伝統文化等の保存・継承がうたわれ、その項目として①文化財の次世代への継承、②地域の伝統文化・芸能の保存継承と人材育成、③文化財の保存と活用、④文化財啓発の幅広い取組みや情報発信の推進を掲げている。この基本計画は平成27年度に策定された神戸市基本計画2020ビジョンにも継承されている。また、神戸市教育振興基本計画（平成25年度策定）では、先述の神戸市基本計画に加え、伝統文化の教育や地域学習の推進を掲げている。神戸観光プラン（平成22年度策定）の中では、神戸の観光資源の特性と可能性として歴史的資源の活用を提唱している。これら神戸市の各計画と兵庫県教育委員会が策定（平成18年度）した歴史文化遺産活用ガイドラインを踏まえて、以下の実施計画を策定している。</p> <p>(1) 地域の文化遺産に関する情報発信事業 (2) 地域の文化遺産に関する普及啓発事業 (3) 地域の文化遺産に関する継承事業・後継者育成 (4) 地域の文化遺産に関する継承事業・用具等整備</p>			
6 実施体制			
<p>本事業は、神戸市教育委員会が全体の事業計画の企画、各構成団体との調整、各団体の事業計画立案・実施に係る指導を兵庫県教育委員会の助言を得ながら実施する。 主な担当課・役割：神戸市教育委員会事務局文化財課／文化財の取扱い（修理や活用）等に関する指導等 また、各事業の実施については、次の団体が実施する。 ・神戸市文化遺産活用実行委員会（会長 田邊篤二郎） （構成団体：特定非営利活動法人 おうご農家守り隊・インターナショナルオーリーブアカデミー 神戸・お弓神事保存会・一般社団法人有馬温泉観光協会・北畑地車保存会・中野まつり保存会・小路祭り実行委員会・森地車保存会・野寄区地車保存会・平野地車保存会・西青木地車保存会・畑原敬神会・上野宮西会・東垂水青年会・長田神社追儺式奉賛会・前開下獅子保存会・船寺神社獅子保存会）</p>			
7 補助事業の概要	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 7,351 千円	平成29年度申請額： 9,594 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本事業は、神戸市域にある多彩な地域文化遺産を活用し、情報発信や普及啓発事業を展開することにより、市民の地域文化遺産に対する興味・関心が高まると共に、これら文化遺産の保護への意識が高まると想定され、この事によって地域文化遺産の保護に直接関わる所有者や保存団体だけでなく市民からの保護への支援が期待できる。また、伝統文化継承基盤整備事業の展開によって、文化遺産の保護の主体者である保存団体の保護への体制が強化され、次世代への継承へのシステムが構築されることが期待される。伝統文化継承を担う保存団体は、地域活動の主体者でもありこの事業を展開することで、地域活性化に繋がると期待される。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
「歴史文化基本構造」については検討中である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課（文化財保護活用係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	自主事業の取り組みとしての神戸の文化遺産普及啓発事業			関連事業 :	①・②・③・④	
目標値 1 :	平成 28 年度 12 回 ⇒ 平成 33 年度 15 回					
設定根拠 1 :	本事業の取り組み以外に事業者が自主的に行う普及啓発事業の取組み数を維持あるいは漸次増やす。ほとんどの団体は現在でも地元への周知活動を行っており、劇的な増加は望めない。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	実行委員会に参加する保存団体構成員数			関連事業 :	③・⑤	
目標値 2 :	平成 28 年度 1,369 人 ⇒ 平成 33 年度 2,065 人					
設定根拠 2 :	各団体から申告された5年後の目標とする会員数を合算					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3 :	地元産品を使用したイベントを開催			関連事業 :	①・②	
目標値 3 :	平成 28 年度 1 箇所 ⇒ 平成 33 年度 3 箇所					
設定根拠 3 :	地域にかかわる産品イベントを実施していくが、定着率を2年で1ヶ所と想定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	33 年度	平成 34 年度	
箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	

